

保護者・教職員の皆さまへ

令和 6 年 1 月 吉日

新たな学校づくりに関するアンケート にご協力をお願いします

皆様には、日頃から本市の学校運営及び教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

小牧市では、近年、児童生徒数の減少が進んでおり、近い将来、「1 学年 1 学級」の学校が増える見込みです。

併せて、学校施設の老朽化も進み、建替えに伴って学校の統廃合などの検討を行わなければならない状況におかれています。

小牧市教育委員会では、これらを極めて重要な喫緊の課題として捉え、将来の子どもたちの教育環境をより良いものにするため、本市における学校施設の適正規模・適正配置や子どもたちにとってより望ましい教育環境の基本的な考え方を総合的に整理した計画「新たな学校づくり推進計画」を今年度から 2 か年かけて策定を進めているところであります。

この調査は、「新たな学校づくり推進計画」の基礎資料として、皆様のご協力をお願いするものです。回答は、すべて統計的に処理し、上記目的以外に使用することはありません。この調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

◆回答対象者（中学生の生徒にも同様のアンケートを実施しています。）


市内小中学校の保護者及び教職員

※保護者の方は、1 家族 1 回のみ回答をお願いします。

◆回答方法

下記の QR コードまたは URL から、質問に回答してください。

※パソコン、タブレット PC 及びスマートフォンから回答できます。

URL	QR コード
https://logofom.jp/form/uSYk/403121 (仮)	(仮) 

◆回答期限 令和 6 年 1 月 3 1 日 (水)

◆問合せ先 小牧市教育委員会事務局 教育総務課 (Tel 7 6 - 1 1 6 4)

質問 4 小牧市教育委員会では、小・中学校間での連携を強化することにより、子どもたちの発達段階に応じた、質の高い学びを提供したいと考え、小中一貫教育の導入を検討しております。
小中一貫教育に期待することについてお伺いします。
以下の設問からあてはまるもの 2 つまで ○をつけてください。

1. 幅広い学年とのコミュニケーションによる、人間関係の広がりや豊かな心の育成
2. 9年間の長期的なカリキュラムによる、学習意欲や学力の向上
3. 小学校の教員と中学校の教員が連携することによる、学習・生活指導の充実
4. 小学校から中学校へ進学する際の環境に適応できない状態「中1ギャップ」の解消
5. 校舎や設備の充実
6. その他 ()

※小中一貫教育とは、小・中学校段階の教職員が、目指す子ども像を共有するとともに、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育です。

質問 5 学級数や学級の人数が減る場合に心配される影響のうち、重要だと思われるものについてお伺いします。
以下の設問からあてはまるもの 3 つまで ○をつけてください。

1. 集団の中で自己主張をしたり、他者を尊重する経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につみにくい
2. 児童生徒の人間関係や相互の評価が固定化しやすい
3. 協働的な学びの実現が困難となる
4. 教員それぞれの専門性を生かした教育を受けられない可能性がある
5. 切磋琢磨する環境の中での意欲や成長が引き出されにくい
6. 教員への依存心が強まる可能性がある
7. 進学等の際に大きな集団への適応に困難を来す可能性がある
8. 多様な物の見方や考え方、表現の仕方に触れることが難しい
9. 多様な活躍の機会がなく、多面的な評価の中で個性を伸ばすことが難しい
10. 学級の中で人間関係が破綻した場合、学級編成による回避ができなくなる恐れがある
11. 学校行事や部活動などで活動の機会や選択肢が少なくなる可能性がある
12. 特に心配する影響はない
13. その他 ()

